

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2017年12月

「プレゼントをもらって喜ぶ子供のための行事だよ」「愛を語り合うパートナーの居ない私には関係ない日」クリスマスについて、そんな気持ちを持っていたとしたら、ちょっと残念。

現代日本では、ただの商業イベントに位置づけられているかも知れませんが、Christ(キリスト)と mass(礼拝)とを結びつけた「クリスマス」は、その語源が示す通りに、本来はイエス・キリストの誕生を祝う行事なのです。

「宗教の教祖の誕生日だから」祝う、というわけではありません。そもそも、キリスト教には教祖は存在しません。イエスの誕生は、その千年以上前から何度も預言が繰り返され、時が至って実現したことです。「どれ、宗教でも始めるか」と思い立ったとか、ある日何かの啓示を受けて立ち上がったとか、そういうものでは無いのです。その家系も、生誕地も、生涯の歩みも、死に方も、みな預言の通りになりました。そして預言の通りに復活して、「すべての人のための救いの道」を実現したのです。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

あなたのための、クリスマス

すべての人を照すまことの光があって、世にきた。

(新約聖書 ヨハネによる福音書 第1章9節)

どんなプレゼントでも、受け取りを拒否したり、受け取っても中身を見ないで放置していたら、意味を成しません。同様に、「本当のプレゼント」であるイエスに無関心であれば、クリスマスなど何の意味もありません。でも「**イエス・キリストは、わたしのために来た**」とわかったら、クリスマスは喜ばしい日、嬉しい日になることでしょう。

「人生には、何の意味があるのか」「私に生きる価値があるのか」「何もかも虚しい」ただ闇雲に人生の時を過ごしているだけならば、ゴールの存在を知らずにマラソンを走るようなもので、ひたす



らキツイ、苦しい思いをするだけでしょ。給水ポイントで束の間の潤いを感じることがあっても、いつまで、どこまで、何のために走るのかわからないままなら、ただただ辛い時間になってしまうでしょう。だいいち、走る道を間違っているかも知れませんし。

あなたには、あなただけの特別で重要で素敵な人生のゴールが準備されています。それを照らし示し、希望を持って走り続けて、そこに辿り着くことができるために、イエス・キリストが来て下さいました。あなたがこの方を知るならば、キリストこそ本当のプレゼントであり、クリスマスが本当に嬉しい日となることでしょう。



祈ってみましょう

イエス・キリストが、わたしのためにこの世に来たって、本当ですか？ わたしのためのプレゼントって言われても、ピンときません。でも、わかったら良いなって思います。だから、わかるように助けて下さい。クリスマスが嬉しいなって、思えるようにして下さい。

クリスマス集会のご案内

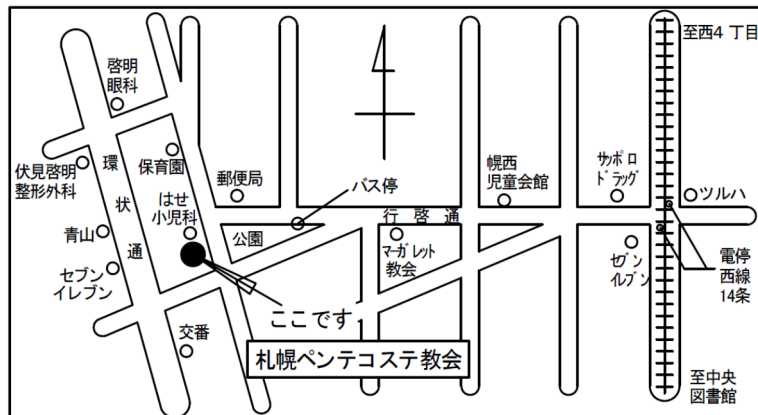
キャンドル礼拝 2017年12月21日(木) よる 7:00~8:30

クリスマス礼拝 2017年12月24日(日) あさ 10:30~12:00

どの集会も参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、する・しないも、金額も、各自の自由です。その他、ご希望があれば、神様について、イエス・キリストについて、聖書について、ご説明するお時間を取ります。お申し出下さい。

教会のホームページ <http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりできます。



【教会へのアクセス】

西4丁目電停から市電にて
西線14条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南14条西17丁目下車
駐車スペース有